

今なら間に合う!

むちやな

中央北地区開発は凍結 公有地は公園に

大塚 寿夫

これから10年間に100億円も使う中央北地区開発計画は凍結するべきです。
今の川西市は財政が大変厳しく、莫大な開発予算を投じることは無理です。市政がゆがみます。
開発計画には見通しありませんし、市民合意もできていません。
今の市政は、こんなむちやな開発を来年度から本格実施すると言っています。

いままら間に合います。事業着手せず、凍結するべきです。
すでに公有地になっている土地は、子どもたちが自由に遊べる公園にします。今、困っているのは市民の暮らしです。
あまりに高い国保税の引き下げ、福祉バス運行。いのちを守る市民病院の充実、医師確保こそ市政がやるべきことです。福祉最優先の川西にします。



日本共産党公認

プロフィール

1939年1月生まれ、兵庫県立兵庫工業高校電気科を卒業、日本触媒化学工業KK13年勤務、労働組合役員10年。川西市議9期・副議長など、02年川西市長選挙、03年・05年衆議院兵庫6区から出馬。趣味はアコーディオン演奏。家族は妻と子ども1人。

市長立候補表明

今度こそくらし守る川西に

市民の立場貫き市議 35年 の実績

1971年から市会議員として4代の市長と論戦してきました。開発・開発で市民のくらしを後回しにしてきた歴代市長、90年市長選挙買収事件で共産党以外が全てお金を受け取り議会が自主解散。市長・議員のなれ合い政治の結末でした。一貫して市民のくらし優先の立場貫き35年奮闘してきました。今度こそくらし守る市政に。力をお貸し下さい。



2010年9月議会で発言する大塚寿夫